

【建国記念の日】二月十一日

二月十一日は、日本の国の誕生日です。

『日本書紀』によると、天照大神様は、平和な高天原と同じ国を地上にも作ろうとお考えになり、孫である瓊瓊杵尊に鏡を授けておっしゃいました。「日本の国を豊かに稲の実る幸せな国にして下さい。」この鏡を私の御魂として、心を清らかにし

てがんばりなさい。  
瓊瓊杵尊は、高天原から筑紫の日向の高千穂のくしふるたけに天降りました。その瓊瓊杵尊のひ孫にあたる神武天皇は人々が平和に仲良く暮らせるよう、荒れている地方を治めるために四十五才で日向を出発されました。稲作の文化を伝え、人々が平和に仲良く助け合って生きる国造りを目指して、数々の苦難を乗り越えて、神武天皇は大和にお着きになり、檜原の地で、日本の天皇としての位につかれました。その日が二六八一年前の二月十一日なのです。昔は『紀元節』と言いました。



神武天皇がその時、この日本をどのような国にしたいかを述べられたお言葉があります。

「六合を兼ねて都を開き、八紘一宇とも言われ、意味は「日本の国は、天照大御神からいただいた国なので、その徳に応え、正しい心をひろめ、すべての国の民族の個性を生かしつつ、全ての人が一つ家の家族のように仲良くしましょう！」この日本の建国理念は、百二十六代今上天皇陛下まで、二千六百八十一年間、今も生きています。

【ひなまつり】桃の節句 三月三日  
おひなさまの話 ～母から子へ～

さあ、きょうは、楽しいひなまつりね。向かって左側が男雛、右側が女雛です。

二段目に官女、三段目に五人囃子、四段目に左大臣(向かって右)と右大臣(向かって左)というふうに、おひなさまは、ひとりひとりちゃんと座られる場所がきまつているのよ。

男雛女雛は、天皇様と皇后様です。いつも神のみ心を生きて下さっている天皇様を中心にして、皆心を合わせて、私心(わがままな心とか自己の正しさを言い張る心、自己を主張する心)を捨て、それぞれ自分の置かれた場



与えられた役割や使命(自分にしかできない、自分に一番あった最高の仕事)を生きましようという願いがこめられているのよ。

お雛様から見て左に桜、右に橘の木を飾ります。桜は神が降りられる木とも言われ、日本に最も種類が多いのよ。朝日に輝く桜は大和心のようにだとも言われます。橘は不老長寿の薬といわれ、めでたい実なのよ。

菱餅の白は雪、緑はよもぎの若芽、紅は桃の花になぞらえたもので、どれも邪気を祓い清めるものなのよ。さあ、一緒におひなさまの歌を歌いましょう。

♪あかりをつけましょ ぼんぼりに♪

和歌コーナー

あきのみや はつばでつくった きれいだね  
にんぎよのさかな おねえさんといっしょに  
年少 K・M

☆あきの実や葉っぱで、かわいいお魚の形ができましたね。

おしゅうじで「火」「水」「天」ふででかけたよ  
しんけんおうの天下とういつ  
しんけんじゃーの「火」 きめつのやいばの  
ほのおのこきゅう はつばでつくったよ  
年中 Y・K

☆葉っぱで、炎の呼吸を作って、すごいね。

はつびようかいを がんばりたい  
おやまをのぼったら ゆきがふるよ  
年長 K・Y



☆発表会では、何をがんばったのかな。

秋の葉っぱ ポンドで雪を表した

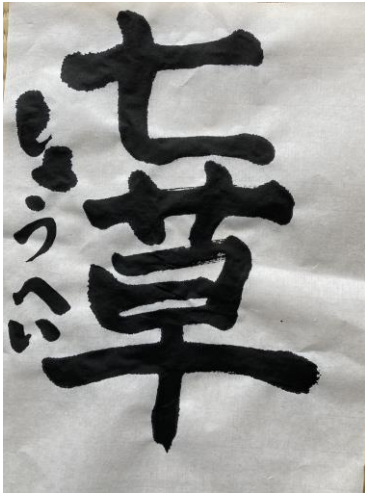
秋の終わりの 冬の始まり  
小学三年 K・S

☆工夫して雪を降らせて、よい作品ができました。  
みんなだね 葉っぱを使って 作ったよ  
木をいしきした たのしかったよ  
小学四年 N・E

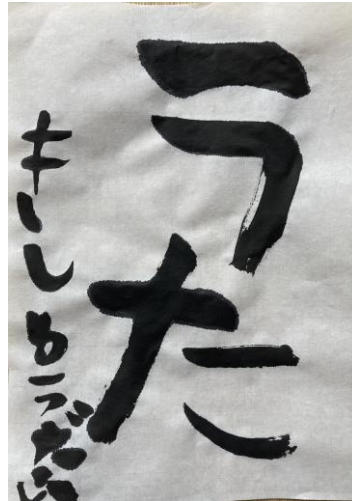


☆木を意識して、すてきな作品ができましたね。





3年 K・S



年中 K・Y

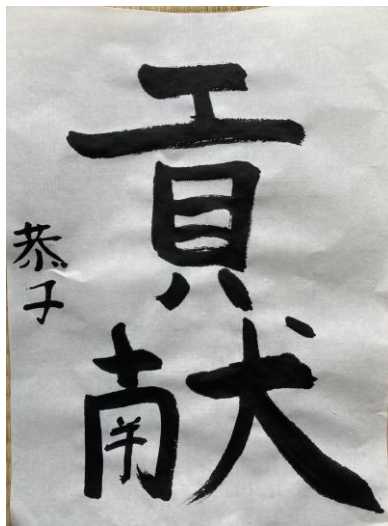


年少 K・M

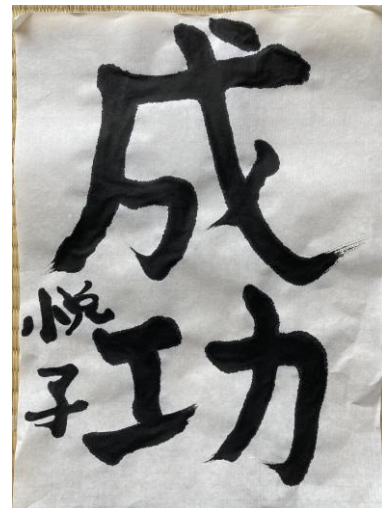
Mちゃん 白い半紙に、筆を持って字を書く楽しさを味わえましたね。「う」の字がのびのびと書けました。

Y君 横の線、縦の線を力強く、一生懸命書けました。あたたかみのある作品ですね。

S君 堂々とした気持ち良い作品です。始筆、終筆がしっかり書け、線筆も生き生きしています。



中1 N・K



4年 N・E

Eさん 紙いっぱい大きな気分で堂々と書いています。線筆もあたたかく伸びやかで、素晴らしいです。

Kさん 筆を立てて、字配りを考えながら、伸び伸びと書けました。中心が通っていますね。

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集 卷一・五四

さかてひとり  
坂門人足

こせやま

巨勢山の

つばき

つらつら椿

つらつらに

しのば

見つつ偲はな

こせ

はるの

巨勢の春野を

巨勢山のつらつら椿、この椿の木をつら

つら見ながら偲ぼうではないか。

椿花咲く巨勢の春野のそのありさまを。

次のなでしこ寺子屋は

三月二十七日(土) 六階和室です。

学年最後の寺子屋なので、ぜひ、参加して下さいね。心よりお待ちしております♪

(文責 藤波礼子)